サポート情報記事

RSS Reader: エンド ユーザー向けクイック ガイド

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

アイテムに表示される内容 4

ソースを切り替える 5

分類で絞り込む 5

検索する 6

アイテムの順序 7

更新 7

表示されることのあるメッセージ 7

Microsoft Teams での利用 8

用語 9

はじめに

イントラネットのページや **Microsoft Teams** のタブに、業界紙、取引先のブログ、メディア掲載情報など、社外のニュースのブロックが表示されている場合、それはおそらく RSS Reader Web パーツです。このガイドでは、読者としてこの Web パーツで何ができるかを説明します。ページへのアクセス以外のアクセス許可は必要なく、Web パーツ上で行った操作が他のユーザーの表示に影響することもありません。

どのフィードが表示されるか、アイテムがどのように見えるか、どのコントロールが利用できるかはページの編集者が決めます。そのため、以下で説明するコントロールの一部は、お使いのページには表示されない場合があります。



発行済みのページ上の RSS Reader

アイテムに表示される内容

一覧の各エントリは、構成されたフィードのいずれかに掲載された 1 つの記事です。

- **タイトル** - 元の記事へのリンクです。クリックすると、記事を公開している Web サイトで、記事が**新しいブラウザー タブ**に開きます。イントラネットのページは開いたままになります。
- **説明** - フィードから取得した、記事の冒頭部分のプレーン テキストです。
- **イメージ** - 発行元が記事に添付した画像です (ニュースレターとカードのレイア

ウト)。フィードに画像のないアイテムは、イメージなしで表示されます。
- **日付** - 記事が公開されてからの経過時間です (*3 時間前*、*2 日前*)。マウス ポインターを合わせると、正確な日時が表示されます。
- **作成者** - フィードに含まれている場合の、作成者またはソースのクレジットです。
- **分類タグ** - 発行元が記事に割り当てたトピックです (ニュースレター レイアウトで、編集者がオンにしている場合)。

既に開いた記事のタイトルは、やや淡い色で表示されるため、何が新しいかが一目でわかります。これはブラウザーの訪問済みリンクの記憶によって動作するもので、Web パーツが読んだ記事を記録することはありません。

ソースを切り替える

複数のフィードがまとめて表示されている場合、一覧の上にタブの行が表示されます。**すべて**と、ソースごとに 1 つのタブで、タブの名前は編集者が付けたものです (*Reuters*、 *Blog*、*FDA* など)。

- **すべて**は、すべてのソースを統合した一覧を表示します。
- ソースのタブをクリックすると、そのフィードのアイテムだけが表示されます。**すべて**をクリックすると元に戻ります。



1 つのソースを選択したソース タブ

選択は記憶されません。次にページを開いたとき、Web パーツは再び**すべて**から始まります。

分類で絞り込む

多くの発行元は、記事にトピック (*Security*、*Cloud*、*Regulation* など) のタグを付けています。編集者が分類タグをオンにしている場合、タグは各アイテムの説明の下に表示されます。表示されるタグは最大 3 つで、*さらに N 件表示*リンクをクリッ

クすると残りが表示されます。

- タグをクリックすると、その分類が付いたアイテムだけが表示されます。選択したタグが強調表示され、分類名のチップが一覧の上に表示されます。
- 別のタグをクリックすると、2 つ目の分類が追加されます。選択した分類の**いずれか**が付いたアイテムが表示されます。
- チップの ✖ をクリックするか、強調表示されたタグをもう一度クリックすると、その分類がフィルターから削除されます。



2 つの分類で絞り込む

分類はフィードそのものから取得されます。発行元が記事にタグを付けていないソースにはタグが表示されず、分類フィルターが有効な間、そのソースのアイテムは一覧から消えます。

検索する

一覧の上に検索ボックスが表示されている場合は、単語または単語の一部を入力します。入力するにつれて、**タイトル、説明、作成者、またはソース名**にそのテキストを含むアイテムに一覧が絞り込まれます。検索の対象は既に読み込まれているアイテムだけなので、結果は即座に表示されます。発行元の Web サイトを検索するものではありません。ボックスをクリアすると (ボックス内の ✖)、再びすべてのアイテムが表示されます。

ソース タブ、分類フィルター、検索は組み合わせることができます。一覧には、3 つの条件すべてを満たすアイテムが表示されます。

アイテムの順序

編集者は、次の 3 つの順序のいずれかを選択します。

- **新しい順** - 通常のニュースの順序です。すべてのソースの最新の記事が上に表示されます。
- **古い順** - 最も古いアイテムから時系列で読む順序です。
- **ソース別** - アイテムがタブの順序でフィードごとにグループ化され、各グループ内では新しい順に並びます。

一覧に表示されるアイテム数には上限があります (編集者が設定し、最大 40 件)。フィルターや検索を適用した場合、上限は絞り込まれた結果に対して適用されます。

更新

Web パーツは、ページが開いている間、数分ごとにフィードを再読み込みするように構成されている場合があります。その場合、ページを再読み込みしなくても新しい記事が表示されます。ページに戻ったときに有効なセッション キャッシュがあれば、最後に読み込まれたアイテムがすぐに表示され、少し後に最新のアイテムに置き換えられます。強制的に再読み込みするには、ブラウザーのページを更新してください。

表示されることのあるメッセージ

メッセージ	意味
アイテムが見つかりません。	選択したソース タブ、分類、または検索テキストに一致するものがありません。**すべて**に切り替える、チップを削除する、または検索ボックスをクリアしてください。
表示するアイテムがありません	編集者がまだフィードを追加していません。読者側で行うことはありません。
申し訳ございません。問題が発生しました。ページを更新してやり直してく	フィードを読み込めませんでした。通常はネットワークの問題が原因です。

メッセージ	意味
ださい。	ページを再読み込みし、メッセージが消えない場合はページの所有者に知らせてください。
昨日まであったソース タブが表示されない	そのフィードを現在ダウンロードできません。更新が成功すると再び表示される場合があります。表示されない状態が続く場合は、ページの所有者にフィードのアドレスを確認してもらってください。

Microsoft Teams での利用

RSS Reader は、Microsoft Teams でも、チャネルのタブまたは左側のレールのアプリとして利用できる場合があります。読むためのコントロール (ソース タブ、分類タグ、検索、記事へのリンク) は **SharePoint** ページと同じで、記事はブラウザーで開きます。左側のレールのアプリに自分で選んでいないフィードが表示される場合、それは意図されたものです。その構成は、管理者が組織の全員に対して設定しています。

ヒント

業界のニュースレターや、チームで使っているツールのブログなど、ページにフィードを追加してほしい場合は、フィードのアドレス (発行元の Web サイトで RSS アイコンの付いたリンク) をページの所有者に送ってください。ソースの追加は 1 分で済み、手順は KB10367. RSS Reader Web パーツを追加して構成する方法で説明しています。

用語

Microsoft Teams

Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

RSS

RSS (Really Simple Syndication) は、Web サイトの更新情報をユーザーやアプリケーションに標準化された機械可読形式で配信するために使用される、一般的な Web フィード形式です。この形式は、ニュース記事、ブログ投稿、その他の頻繁に更新されるコンテンツの配信に広く使用されています。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。